

# 北海道浮魚ニュース

平成 30(2018)年度 5 号

2018 年 6 月 14 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋イカ類北上期資源調査結果

### ・ 調査海域へのスルメイカの来遊は認められなかった。

調査期間：2018 年 6 月 5～11 日

調査海域：道東太平洋（北緯 41 度線上の 7 調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機 5 台装備

### 1. 水温分布（図 1）

漁獲調査点 7 点の表面水温は 11.5～15.7℃、50m 深水温は 2.6～11.4℃の範囲にありました。昨年同時期に調査を実施した 6 点との比較では、表面、50m 深ともに、6 点中 4 点で昨年水温を上回っていました。

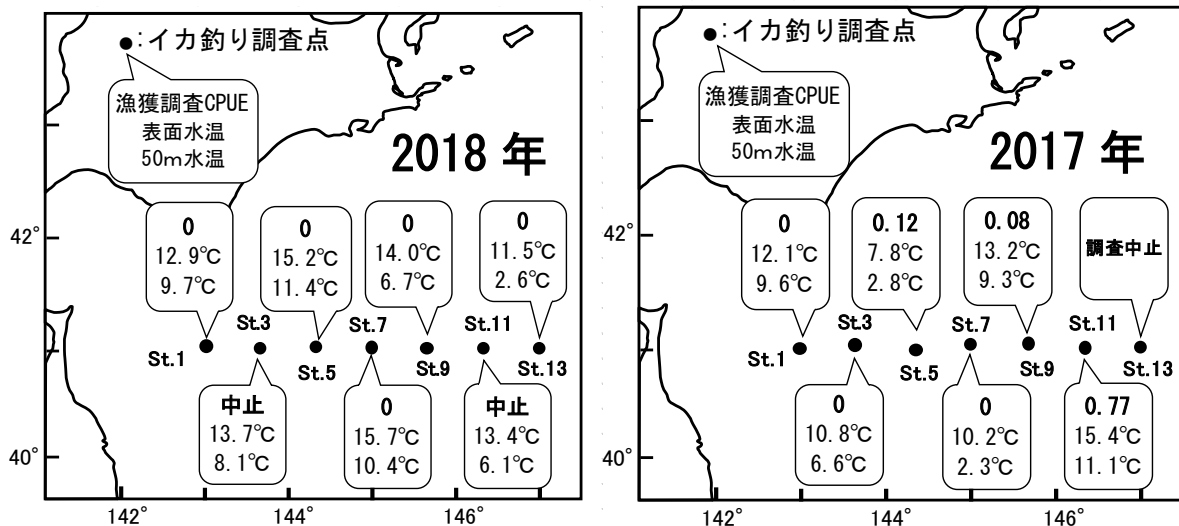


図 1 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面および 50m 深水温

（左図：2018 年，右図：2017 年）

※分布密度は CPUE（イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）で示した。

### 2. 分布密度（図 1、図 2、表 1）

漁獲調査点 7 点のうち 5 点で漁獲調査を行い、スルメイカの分布密度を調べました。5 点いずれもスルメイカの漁獲はなく、この海域への来遊は認められませんでした。分布密度の目安となる全調査点の CPUE（イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）の平均は 0 で、1993 年以降で最も低い値となりました。

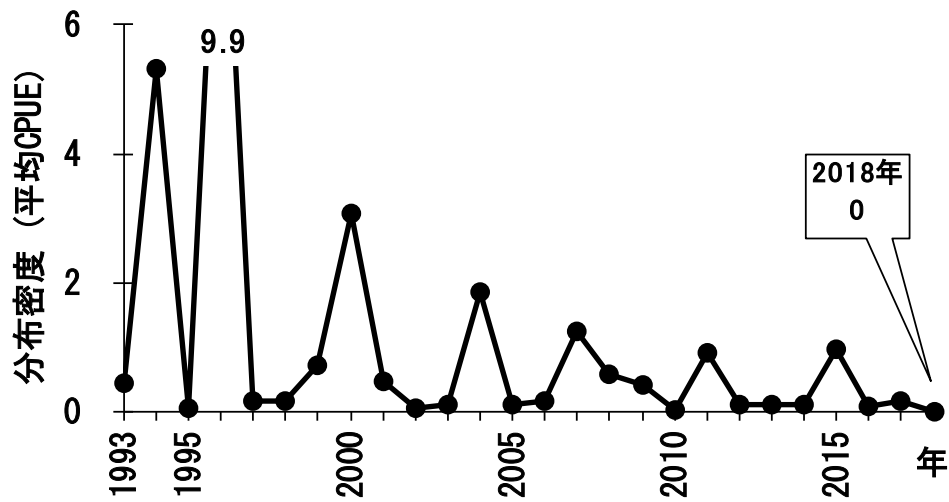


図2 スルメイカの分布密度（平均 CPUE）の経年変化

表1 2009～2018年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2009年 6/9～17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7～14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7～14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9～16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3～10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2～9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4～12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7～13	12	0.08	14-18	15-17	6
2017年 6/7～15	24	0.16	11-17	15	6
2018年 6/5～11	0	0.00	-	-	5

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)